

保育おおさか

平成17年10月1日 第362号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

評価調査者研修はじまる

部会からは32人が受講

8月末から福祉サービス第三者評価システム推進支援会議・大阪が主催する「福祉サービス第三者評価調査者養成研修」が始まりました。今回は、児童福祉分野の受講者からのご報告をお届けします。

この研修は、評価者として、第三者評価の理念や考え方、実際の訪問調査に関する一連の知識及び技術を習得することを目的に開催されたもので、高齢、障害、児童の3分野に分かれ5日間おこなわれ、保育部会からは32人が受講しています。

1日目は第三者評価の意義、評価調査者の役割や、基礎部分についての講義で利用者本位の福祉システムのためにサービス評価が必要なこと、評価調査者は社会福祉事業の経営者の自己評価への支援をすることなどを学びました。

2日目は第三者評価の際の「大阪府基準」について学ぶとともに、利用者調査の方法、書面審査の着眼点についての講義でした。

保育所の第三者評価の評価項目は①福祉サービスの基本方針と組織、②組織の運営管理、③適切な福祉サービスの実施、④子どもの発達援助、⑤子育て支援、⑥安全・事故防止、⑦子どもの

の発達・生活援助と全部で90項目にもなります。評価項目の多さもさることながら、項目一つ一つに対して評価のポイントや着眼点があり、全部を頭に入れるには相当の努力が必要となってきました。

3日目はグループワーク形式で大阪府評価基準を用いた訪問調査のイメージを学びました。小グループに分かれて調査者役、事業者役、観察者役を順番に担当して、ロールプレイをおこないました。調査者役のときは問いかけに少し遠慮があったように思い、また事

業者役の時には最初の質問には答えられても、それに関連付けた次の質問には返答に窮することがありました。事業者からのあらかじめ出された自己評価を読み込んで、質問項目などを考えるのが大変難しく感じました。

第4日目は実際に保育園を訪問して調査の体験となります。4人で調査し、事前の自己評価表を基に90項目を分担して、それぞれ質問事項を考えていくことになっていきます。

そして最終日は実習のとりまとめとその評価を発表して講評を受けます。

目的は「調査」すること

研修は全部で28時間30分に及びます。この時間が長いものか短いものかは、研修参加者によって違うでしょう。

私は研修が始まってから、第三者評価調査者として事業所に赴いて評価をするにはあまりにも短く感じ、とても不安でしたが、研修を受けるに従って徐々になくなってきました。

「評価する」ということに、「監査する」ような印象をもっていたからです。事業所の不備な点を見つけてそ

れを指摘するようなことが自分に出来るはずがないと思っていました。

研修では第三者評価の目的は「指導する」のではなく、「調査する」ことが第一であるということがわかりました。

保育園を経営している事業者として、改善しなければならぬ点を気づかせていただけた大変有意義な研修だと感じています。

(私部保育園 H・H)



先日、長男が夏休みの宿題でレポートを書いていたのを興味深く読みました。

12歳の経済学（この世の中で、お金持ちとお金持ちでない人がいるのはどうしてですか？物の値段はどうやって決めるの？）

大人でも即答しがたい課題にびっくり。担任の先生のアドバイスもあり、友達6人で近所の市場へ出かけ、野菜や魚のセリを見に行くと、市場のおじさん達に値段はどのように決まるのか？証券会社や銀行員のお父さんたちに株の価格変動や外資の決定要因を教わりに行ってみたのです。

なんだか今の子どもたちは、凄い時代に生きているんだなと驚きました。ITが発達し、だんだん正しいいけなくなる大人たちと正反対に、子どもたちは音楽や映像・ゲームを配信したり編集したりと、いとも簡単にやりとげる。父親としては、ついていくのが精一杯。そのうちネを上げて、「ギブアップ！」しちゃうかな。時代の流れにとり残されるのではと焦っている昨今です。

(K・K)

子育て・保育(園)の 現状とこれから

対策についても、国が基本的な仕組みを束ねつつも市町村の主体的な取り組みが進行している。明らかに地方、特に市町村にシフトしてきた実態がうかがえる。

市町村組織の役割増す

今夏の地方六団体の国に対する要望で、保育所運営費が一般財源化から除外され安堵したのも束の間、再び生活保護費等との関連で浮上する可能性が濃厚になってきた。三位一体改革の年末に向けた国と地方六団体の動向に注目を要するが、運営費の一般財源化はかなり際どい状況にある。今後は国や府に対する折衝はもとより、市町村との折衝が重要になってきた。従って、各市町村の保育組織の役割がますます重要になるとともに、その存在価値が問われている。また、各地で公立保育所民営化の動きが活発化し、そこに幼稚園やNPOなどのさまざまな主体が参入している。この問題にどう対応するか、今後に向けた課題のひとつである。

保育制度の現状

いま国では、特に福祉分野においては介護保険制度

厚労省に 要望書を提出



北井局長に要望書を
手渡す永野部会長

永野保育部会長、水崎副部会長、亀井幹事の3人は、9月22日、大阪12区選出の

北川ともかつ衆議院議員(厚生労働委員会委員)の紹介で、今年度の一時保育、特定保育に関する要望のため、「一時保育・特定保育の運営費に関する要望書」を携え、厚生労働省を訪問した。

雇用均等・児童家庭局の北井久美子局長、白石順一大臣官房審議官、保育課の尾崎春樹課長、同じく為石磨利夫課長補佐ほか2人の吏員の方に対応していただき、我々の要望を真剣に聞

いていただけたようだ。結果として、①今年度の一時保育、特定保育は、大阪府とも相談し、地方に再度十分な理解を求める努力をする、②来年度については、もう少し段階を作り、積極的に一時保育・特定保育に取り組む園に報われる制度を考えたい、という回答を得た。

保育部会としては、今後、大阪府や関係団体にも理解を得るため、同様の要望をおこなっていく予定である。

ネットワークによる 機能充実を

子育て家庭が抱える育児に関する問題は多様であり、保育所での対応にも一定の限界がある。しかし、さまざまな機関や保育所・施設が連携することで可能となるサービスもある。保育所のためだけでなく、地域の子育て家庭のために何をやるかが今後の課題である。

総合施設について

今年度、全国36か所の試

の見直しと障害者自立支援法が重大関心事である。介護保険は定期的な見直し義務付けられており、障害者福祉の分野では、支援費制度からさらに新しい仕組みが検討されている。保育の世界を見ると、措置制度の原型をとどめた形で温存されている。保育は今、社会福祉基礎構造改革のさまざまな議論や社会福祉法の理念に照らして、現行制度の是非を問われその選択を迫られている。その象徴的な動きが、総合施設の試行事業である。

運営費弾力化への対応

念願の、保育所運営費の弾力化が実現した。この弾力化の真の目的は、法人主体の経営体制作りと、社会的要請に応えた法人としての主体的な事業展開(先駆的・開拓的)を可能にするための条件整備である。社会福祉法人立の保育関係者

は、この趣旨を尊重し、現状の保育制度の範疇を超えて積極的に事業展開し、保育事業を通じて社会福祉法人本来の使命とその存在意義を明確にする必要がある。

老朽改築を終えて

泉南市

ココアンジュ新家



ゆとりのある生活空間に

30年間慣れ親しんだ新家保育園が、平成17年5月1日「ココアンジュ新家」として、定員も90人から150人に増員し開園しました。

「ココアンジュ」のネーミングは、「ココ」は日本語の「ここ」、「アンジュ」はフランス語の「天使」を合成し、子どもたちを天使にたとえて、「ここには天使がいます」という意味を込めて名付けました。



ココアンジュ新家のマーク

が生活する上での安全性を一番に考え、シンプルながらも生活がしやすく、明るい保育室になるように考えました。

また、子どもたちにゆとりのある広い生活空間で生活をさせてあげたいという考えから、従来園舎が建っていた法人所有地をすべて園庭にし、新園舎の土地を全部寄付したことにより、

中庭もあり、エントランスホールも広い、思い通りの園舎が完成しました。外観は、地中海風の城をイメージしながら、外壁もオレンジ色を使い、夢と温かさのある建物となりました。衛生面では調理室・トイレを乾式にし、清潔に保てるようにしました。

開園以来、利用者はもとより、泉南市の事業の会場にも使用していただき、毎日笑いの絶えない明るい子どもたちを見ていると「建替えてよかったな」と思っています。

これからも地域の子育て支援の拠点として、職員一同信頼される保育園づくりを目指します。

最後になりましたが、改築にあたりご理解を頂いた地域の皆様方をはじめ、あらゆる方面でご協力をいただいた皆様方に心から感謝申しあげます。

保育部会 常任委員会 報告

平成17年9月6日(火)

午後2時～

- 保育海外研修について
- よい子ネットについて
- 府への予算要望について(一時保育について)
- その他

■いよいよ今回で、わたしの連載も本当に最後になりました。

昭和60年8月から今日まで、その題名を「ことわざ保育むだ話」「創作・保育ことわざ集」「やさしい児童精神医学入門」そして平成15年からは「落語医者の保育うだうだ話」と変えながら20年以上も連載を続けてきたことに、自分でもビックリしています。

と、同時に、わたし自身も保育園の園長を28年間もやってきたことに対して、ある種の感動と驚きを感じています。

こんなに長く続けられてのは、やはり保育の仕事が魅力的で楽しい仕事だったからだと思います。

■まず、何と言っても保育の仕事は未来を作る仕事ではありませんか。

なにによらず物を作ることは人間にとって本能的に楽しいものですが、それが単なる製品ではなく、命ある子どもたちの人格の根本形成に関与し、場合によっては、その子の将来を左右できるような仕事、こんな価値ある仕事はそんなに多くはありません。

落語医者の保育うだうだ話

保育バンザイ

世の中では、大学教授の方が保育士よりも価値のある仕事をしているように考えている人もいますが、残念ながら、教授は学生の人格形成にそれほど力を持っているとは思われません。

教授は知識を与えるだけですが、保育士はもっと大切な生きる力や価値観を彼

らの心の奥深くに育てることができるとは、ただ、われわれの影響が、それと気がつかないほど強力に、子どもたちの心に染み込んでしまうために、そのことを思い出してくれる卒園生や大人たちが多くないことは、まことに残念なことではありますが…。

に感動し、その優しさや思いやりの心などに、自分の心が洗われるような体験をさせてもらえる仕事、それが保育の仕事ですし、その上、子どもたちから若さを吸収させてもらえるのですから、こんないい仕事はありません。

これも保育という仕事の大きな、しかも楽しい特権ではないでしょうか。

こんな素晴らしい仕事、楽しい仕事を日々させてもらって、われわれはお給料をいただいているのですから、少しぐらい非協力で非常識な保護者がいたとしても、保育の仕事に感謝しないわけにはいきません。

■連載の最後は、保育の仕事の素晴らしさについて話させていただきました。

皆様も今いちど、自分の仕事の価値と魅力を再認識して、明日からも、元氣と笑顔で、子どもたちを見守ってあげて下さることをお願いして、筆を擱きます。

長年のご愛読、まことにありがとうございます。

(英)

ブロックだより

おいしい料理を
おいしくいただいた
社会人のテーブルマナー

北大阪ブロック・保育士研修

台風11号が近畿地方に接近との予想が報じられていたが、うまくそれた8月25日夕、守口ロイヤルパインズホテルに、148人の保育士、園長が集い、和やかな雰囲気、どのテーブルも、やさしいまなざしと語りかけ、笑顔いっぱいの中に歓談の輪が開いた。

亀井会長の名挨拶の後、メニューに従って、次々と美味しい料理が運ばれる。ホテルの課長が、料理毎に食事を楽しんでいただくマナーについて具体的に話される。乾杯時のグラスは、目の高さで、フォーク・ナイフの食中、食後の置き方、食器の種類など、なるほどと納得のいくお話に聞き入りながら美味しくいただく。

帆立貝とサーモンのミ・キュイ・ペトラープのカルパッチョ、ハーブのサラダ添えに始まり、デザート、コーヒーに至る数々のディナーコースに、時の経つのを忘れ、美味しいワインもいただき、晩夏の一時を過ごした。

絵に表れる
子どもの気持ち

堺ブロック・研修会

(倉治保育園 R・K)

太陽気保育園の門谷明さん(保育部会副会長)が、アフリカのタンザニアを訪問された。ご長女が、ボランティアとしてタンザニアのハンガという町の小学校の英語教師として短期赴任することになった。

目的地にたどり着くまでの一部を紹介すると、飛行機はオランダ経由でタンザニアのダルエスサラームまで約24時間、そこから900キロ離れたソングアという町まで高速バスで13時間、やっと終点と思つたら、お迎えの車で約1時間。ようやく目的地ハンガに着。カトリックの一派が運営する小学校のある町である。発展途上国の小さな町での生活は、大都市大阪と比較することはできない。訪問記に興味がある方は門谷さんまで。



保育園をたずねて

332

高槻市
真上保育園

高槻のJRと名神の間に位置する真上保育園は、平成15年に開園し、3年目の秋を迎えました。

5月から新しい取り組みとして幼児を対象にニコニコ交流会を始めました。普段は年齢別で活動している子どもたちが自由に好きなコーナーに行き来します。各保育室では、石ペイント・ビーズ・スタンプ遊び、園庭では色水遊びやシャボン玉：季節感を取り入れ、子



どもたちが何度遊んでも楽しめるよう工夫しています。好きな遊びを自分で選んだり、年齢の違う子どもたちと関わったりする中で、小さいお友達を思いやる気持ちや自主性が育ち、いきいきとした笑顔が少しでも多く見られるようにと願いを込めて取り組んでいます。今度は秋の自然を取り入れた遊びを楽しむ予定です。

堺ブロックでは9月8日、「子どもの心を育てる絵画」と題し、大阪信愛女子短期大学の船井賀世子さんによる研修がおこなわれた。船井さんは保育の現場から、絵の指導はどのように描かせたらよいのか、どんな材料を与えればよいのか、年齢にあっているかなど、なかなか難しく、絵を描くことを避けてしまいがちになっているという声を聞くと話された。

そして、絵を通して子どもの心を理解するのは保育士の姿勢で変わり、何故こんな色や形で表現するのか、



講演される船井先生

その思いを成長にあわせ、どのように表現し素直に表しているかを子どもの心に聞く(読みとっていく)ことが大切で、先生の受けとめ方で子どもの感性も変わっていく。絵を見て感動し、共感し、褒めてあげること

が必要であり、自信を持たせることが意欲を育て、繰り返すことでいい絵につながっていく。発達段階や個人差によってその表現方法や意味は変わってくるものの、子どもの絵からは心を理解していくことができる、と締め括られた。

実際に絵を使いながらのわかりやすい講義であった。

(保育園平和の園 N・S)

発行所
大阪府社会福祉協議会
保育部 会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集人 永 水
永 水